
館林市
子育て支援に関するニーズ調査
結果報告書(速報値概要)
【就学児童(小学生)】

平成 26 年2月

館林市

目 次

I 調査の概要	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査の方法.....	1
3. 回収状況.....	1
4. 報告書の見方	1
II 調査の結果	2
1. 子どもの育ちをめぐる環境について.....	2
2. お子さんの保護者の就労状況について	4
3. お子さんの病気の際の対応について.....	5
4. お子さんが不定期的に利用する事業について.....	6
5. 小学校就学後の放課後の過ごし方について.....	7
6. 育児休業や短期間勤務制度など職場の両立支援制度について.....	8
7. 館林市の子育て環境や子育てについて	9

I 調査の概要

1. 調査の目的

本市では、次代を担う子どもの健やかな成長と子育てを支える地域社会の形成をめざし、「館林市次世代育成支援行動計画（後期計画）」に基づき、さまざまな子育て支援に関する取り組みを進めています。

このたび、この計画の期間満了に伴い、新しい子ども・子育て支援制度に基づく「館林市子ども・子育て支援事業計画」を策定することとなり、市民の皆様の子ども・子育てに関する生活実態やご要望・ご意見などを把握するため、ニーズ調査を実施しました。

2. 調査の方法

	1. 就学前児童調査
(1)調査対象者	小学1年生から3年生までの生徒を無作為抽出
(2)調査対象者数	500件
(3)調査方法	郵送配布・郵送回収
(4)調査実施期間	平成26年1月7日（火）～1月20日（月）

3. 回収状況

調査名	発送数	回収数	回収率
1. 就学児童（小学生）調査	500件	329件	65.8%

（2月15日現在）

4. 報告書の見方

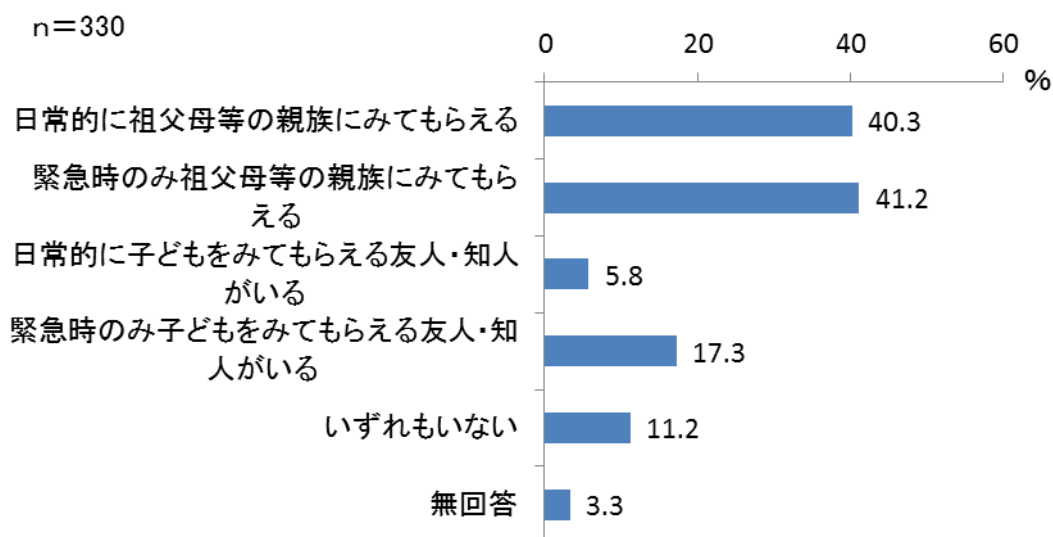
- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- 図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「n（number of case）」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部省略している場合があります。

Ⅱ 調査の結果

1. 子どもの育ちをめぐる環境について

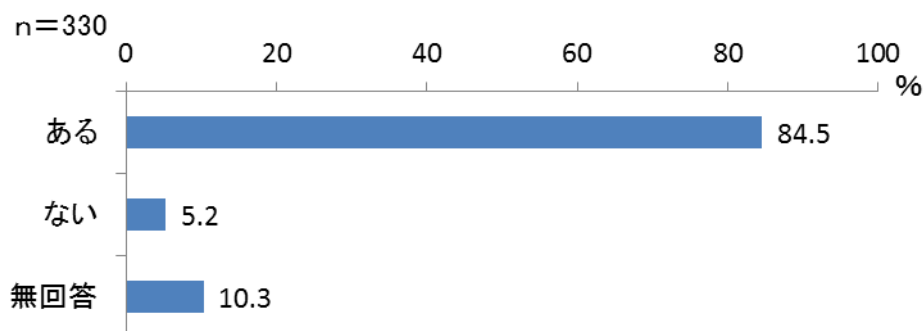
問7 放課後など、日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族や友人・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無は、「緊急時のみ祖父母等の親族にみてもらえる」が41.2%と最も多く、次いで、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が40.3%などとなっています。



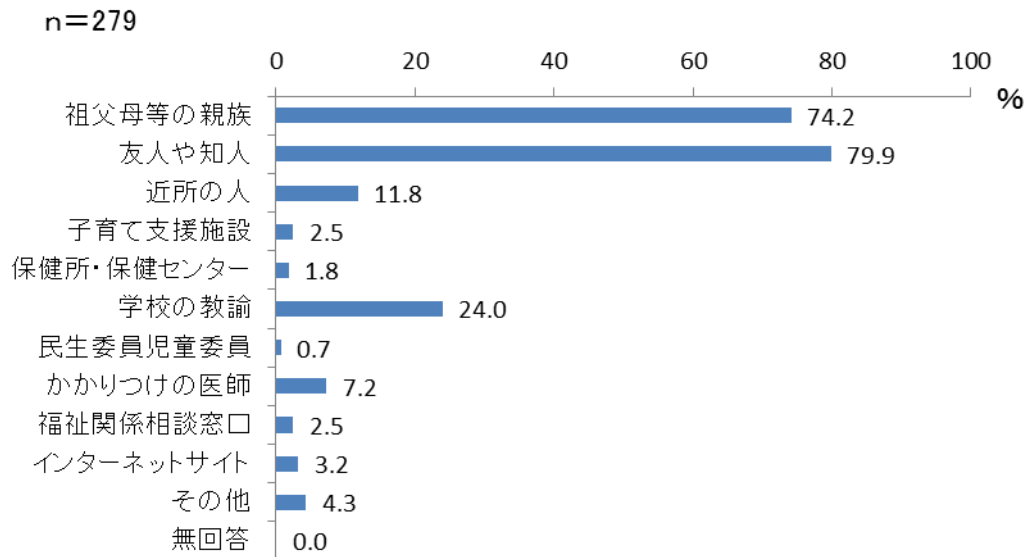
問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人または相談できる場所はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

子育てをする上での相談相手（場所）の有無は、「ある」が84.5%、「ない」が5.2%などとなっています。



問8-1 「1. ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

子育てをする上での相談する先は、「友人や知人」が79.9%と最も多く、次いで、「祖父母等の親族」が74.2%、「学校の教諭」が24.0%などとなっています。



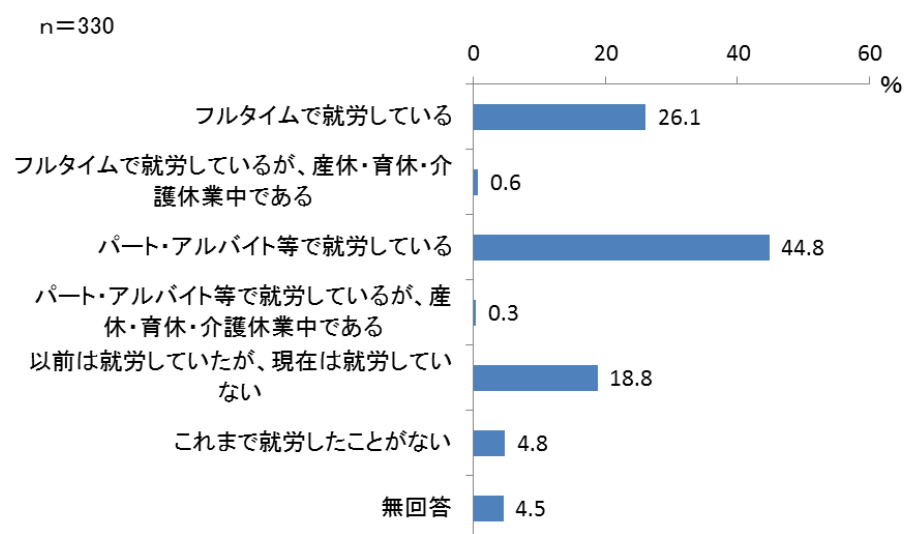
2. お子さんの保護者の就労状況について

問9 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）について、母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

また、「5.」と回答した方は、離職の理由について、当てはまる記号1つに○をつけてください。

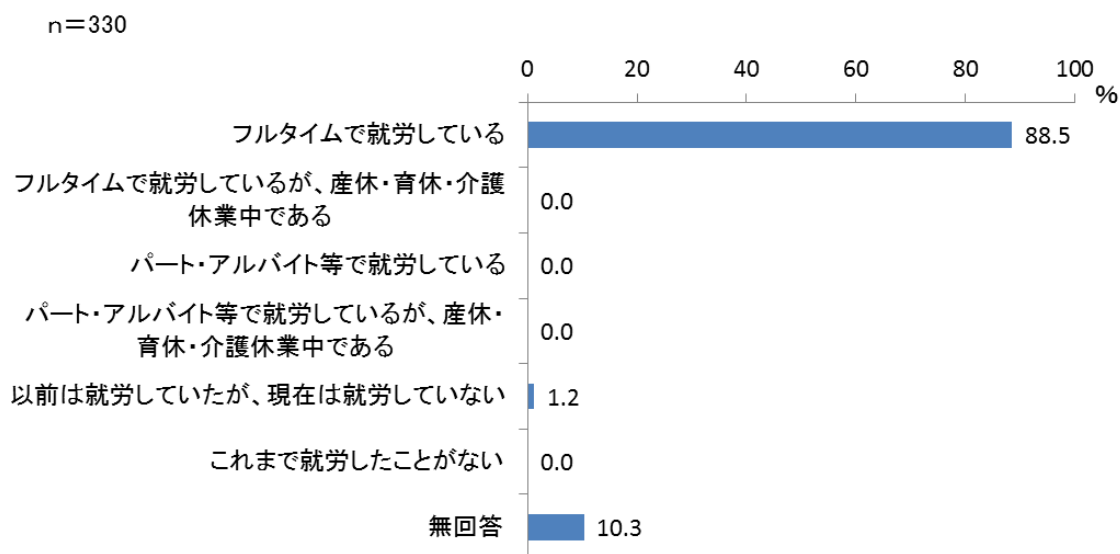
(1) 母親

母親の就労状況は、「パート・アルバイト等で就労している」が44.8%と最も多く、次いで、「フルタイムで就労している」が26.1%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が18.8%などとなっています。



(2) 父親

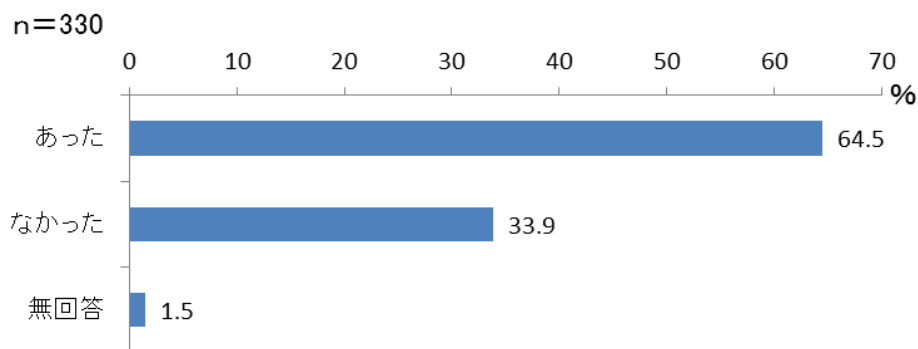
父親の就労状況は、「フルタイムで就労している」が88.5%と最も多く、次いで、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が1.2%などとなっています。



3. お子さんの病気の際の対応について

問 12 この1年間に、宛名のお子さんが病気やけがで学校を休んだことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

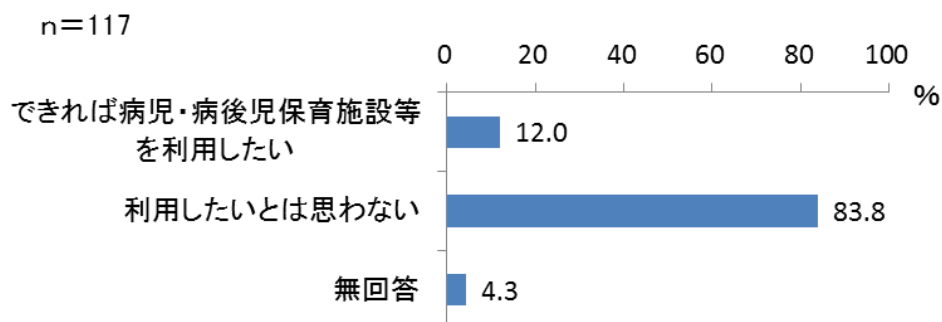
病気やけがで学校を休んだことは、「あった」が64.5%、「なかった」が33.9%などとなっています。



問 12-2 問 12-1 で「ア. 父親が休んだ」「イ. 母親が休んだ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

宛名のお子さんが病気やけがで学校を休んだ際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

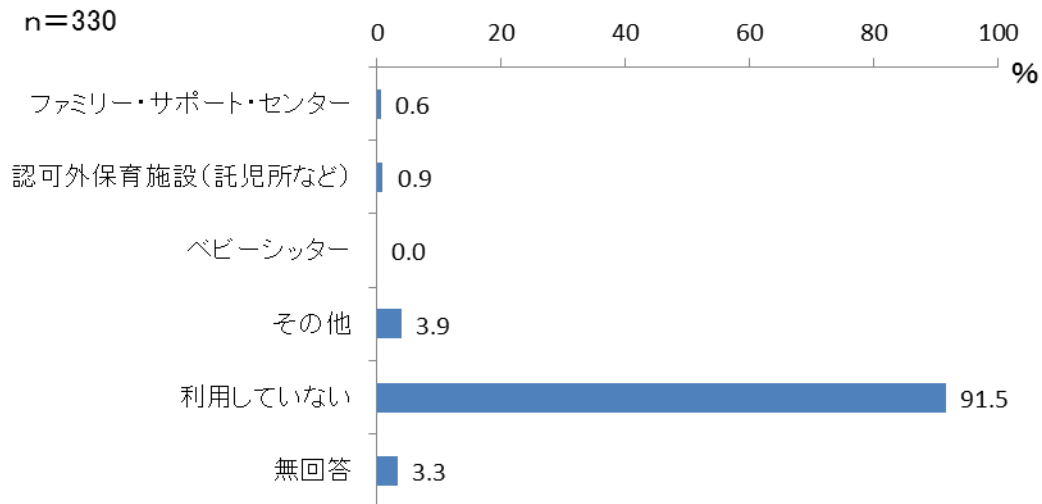
利用希望は、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が12.0%、「利用したいとは思わない」が83.8%となっています。



4. お子さんが不定期に利用する事業について

問 13 宛名のお子さんについて、私用、保護者の通院、就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も口内に数字でご記入ください。

不定期の保育事業の利用は、「利用していない」が91.5%と最も多く、次いで、「認可外保育所」が0.9%、「ファミリー・サポート・センター」が0.6%などとなっています。



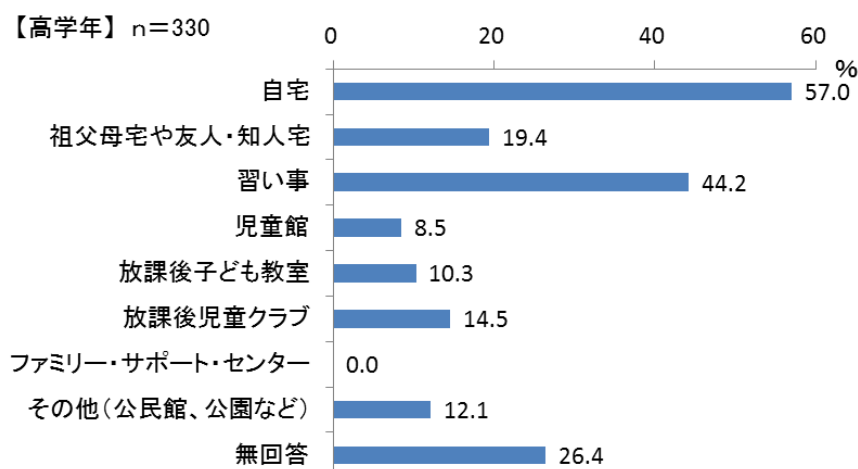
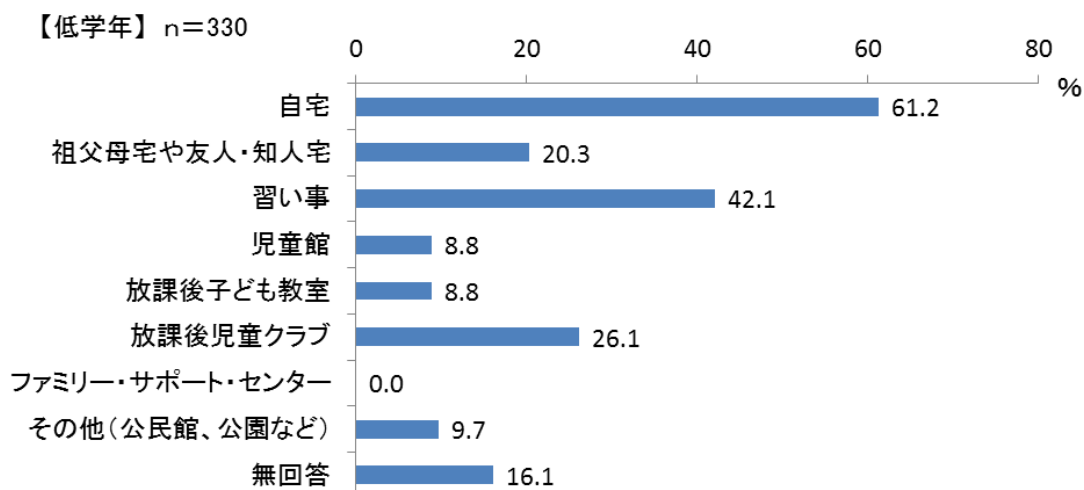
5. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

問 17 宛名のお子さんについて、現在利用している、していないにかかわらず、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。また、小学校高学年（4～6年生）になったら、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たりの日数を口内に数字でご記入ください。

なお、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時30分のように24時間制でご記入ください。

低学年の放課後の過ごさせたい場所は、「自宅」が61.2%と最も多く、次いで「習い事」が42.1%、「放課後児童クラブ」が26.1%などとなっています。

高学年の放課後の過ごさせたい場所は、「自宅」が57.0%と最も多く、次いで「習い事」が44.2%、「祖父母宅や友人・知人宅」が19.4%などとなっています。

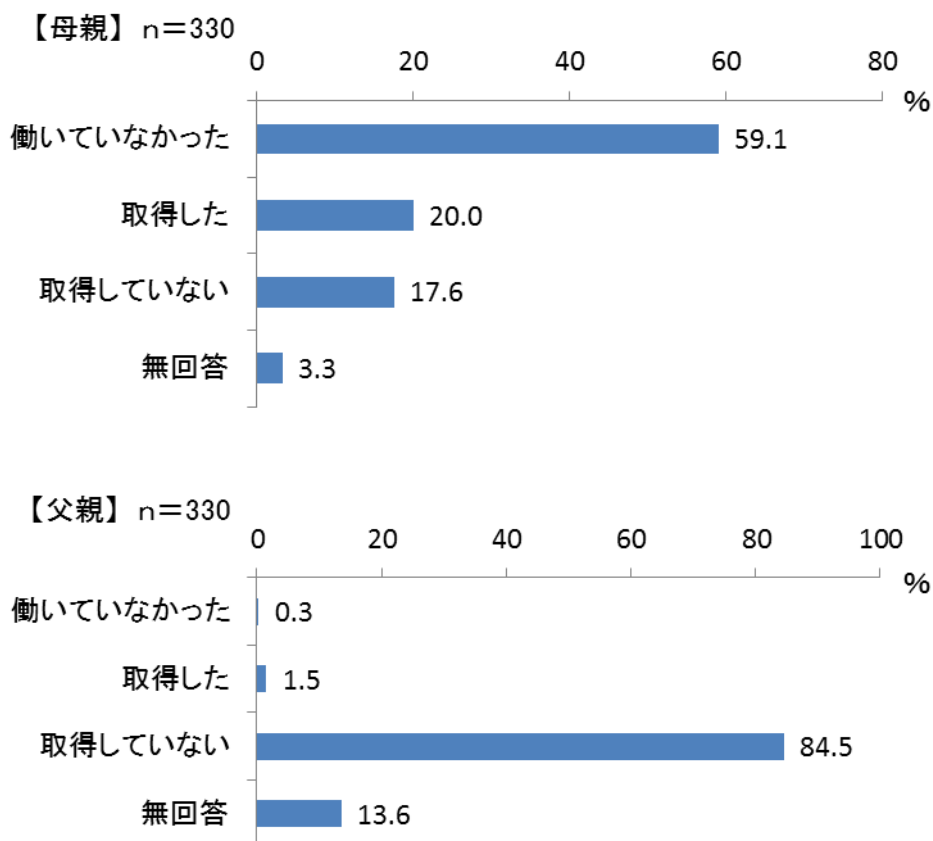


6. 育児休業や短期間勤務制度など職場の両立支援制度について

問 20 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由について、「取得していない理由」から当てはまる番号をご記入ください。

母親の育児休業制度の利用は、「働いていなかった」が59.1%と最も多く、次いで、「取得した」が20.0%、「取得していない」が17.6%となっています。

父親の育児休業制度の利用は、「取得していない」が84.5%と最も多く、次いで、「取得した」が1.5%などとなっています。



7. 館林市の子育て環境や子育てについて

問 21 館林市における子育て環境について、どのように思いますか。それぞれの当てはまる番号に○をつけてください。

子育て環境の満足度（満足とやや満足の合計）では、「児童館等の居場所づくり」が25.8%と最も多く、次いで、「保育園の施設整備」が24.3%、「就学前の保育」が19.7%などとなっています。

子育て環境の不満足度（不満とやや不満の合計）では、「放課後児童対策」が37.0%と最も多く、次いで、「特別保育」が27.0%、「児童館等の居場所づくり」が20.6%などとなっています。

